

アイヌの人たちが培ってきた文化や歴史を、次の世代に



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

7月中旬を迎え、旭川は夏本番です。山や川、海など自然の中でのレジャーが楽しい季節ですが、遊びに出掛ける皆さんには、事故やけがなどに気を付けて、北海道の短い夏を満喫していただきたいと思えます。

北海道の山や川には、十勝岳や忠別川など、アイヌ語が語源となった名称を持つものが少なくありません。道内各地に先住していたアイヌ民族は、狩猟採



集を生活の基本とし自然と共生しながら、言語をはじめ食事や踊りなど、独自の文化を育んできました。アイヌ語由来といわれる様々な地名の意味を調べてみると、アイヌの人たちが自然をととても大切にし、その恵

みを得ながら暮らしていたことを想像できます。近年、ユネスコがアイヌ語を消滅の危機にある言語と認定するなど、アイヌ文

化の維持・伝承が大きな課題となっています。

市内には博物館などアイヌ文化を学び、体験できる場所があり、今年100周年を迎えた川村カ子トアイヌ記念館では、様々な記念事業も予定されています。アイヌの人たちが自然の中で培ってきた文化や歴史を、私たちが暮らす地域の財産として、しっかりと、次の世代につないでいきたいと思っています。

西川 将人

西川市長のまさに一言
FMリバー FM83.7MHz
7月28日(木)
午後4時〜4時15分

旭川市の広報番組

テレビ

●マイタウンあさひかわ (手話通訳付き) HBC

7月24日(日)

午前6時30分〜45分

「旭川産のお肉を紹介します(仮題)」

●旭川市民ニュース STV

毎週土曜日

午前11時54分〜58分

●わくわくライブ旭川

ケーブルテレビポテト 11ch

毎週土曜日

午後1時〜1時30分のうち、15分間

ラジオ

●市からのお知らせ

FMリバー FM83.7MHz

毎月第1〜3木曜日

午後4時から約5分間

クイズに答えて

プレゼントを 当てよう!



●問題 今月号の特集のタイトルは「アイヌ〇〇に触れて感じる」です。〇〇に入る言葉は?

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、8月5日(金)までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で5人に、笹豚とエゾシカ、上川産牛の加工品セットをプレゼントします。6月号の正解は「相談」、5月号への応募は326通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目 旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

☎25・6515 ✉kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

☎0120・20・8699

携帯電話からは

☎011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や
児童虐待の通報・相談

☎26・5500

●女性が抱える問題や
配偶者等の暴力の相談

☎25・6418

●ひとり親家庭等の相談

☎25・9107

●高齢者の介護に関する相談

☎25・9119

●障害がある方の総合相談

☎73・5936
FAX 73・5937

子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

☎0120・528506

平日午前8時45分〜午後5時15分
(月・木曜日は午後8時まで)

表紙の 写真



アイヌ民族の神聖な山である嵐山で、伝統儀式「チノミシリカムイノミ」が行われました。儀式の最後には、皆でシカリウポポ(輪踊り)を踊りました。